

## 第 67 回 東京薬科大学 卒後教育講座

主題『6年制薬剤師の手本になるようなスキルアップ』

【主催】東京薬科大学、東京薬科大学東薬会／共催：日本薬剤師研修センター

【期日】平成19年 9月8日(土)／10月28日(日)／11月11日(日)

【会場】東京医科大学病院 臨床講堂／〒160-0023 新宿区西新宿 6-7-1

【交通】東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅 徒歩1分、JR 新宿駅 徒歩7分

### 【内容】

『骨粗しょう症と緩和医療』（臨床講堂）／10:00～11:00、11:10～12:30

（1）骨粗しょう症の予防と治療の最前線 —2006年版ガイドラインから—  
東京女子医科大学 産婦人科 主任教授 太田 博明 先生

（2）骨粗しょう症の薬物治療の ProsCons(有効性と安全性情報に基づく討論)  
司会（ディスカッサント）：太田 博明 & 宮原富士子

ビスフォスホネート（エーザイ(株) 医薬部 運動器領域室 榎坂 宏 先生)

SERM（日本イーライリリー(株) 臨床開発本部 臨床開発医師 宮内章光 先生)

骨粗しょう症患者への服薬指導・疑義紹介に役立つ薬効の違い・安全性情報を参加者全員で共有化し、専門医とともに討論します。

★オピオイド製剤の適正使用・緩和ケアチームにおける薬剤師の役割／13:30～14:30、14:40～16:00

がん疼痛治療におけるオピオイド製剤の適正使用は、在宅治療においても重要な位置づけとなっている。薬剤師はその責務において患者への適切な疼痛緩和に関する情報提供を行う必要がある。今回は最新適正情報を修得することを目的としてお話いただきます。

亀田総合病院 薬剤部長 佐々木 忠徳 先生